

埼玉)もうこの時期！川越八幡宮でジャンボ絵馬掛け替え

2016年12月6日 03時00分



来年の干支(えと)に掛け替えられた川越八幡宮の

「日本一のジャンボ絵馬」と、制作した生徒たち＝川越市南通町

川越市の川越八幡宮で、通りに面した「日本一のジャンボ絵馬」が、今年の干支(えと)「申(さる)」から来年の「酉(とり)」に掛け替えられた。絵馬は、地元の山村学園高校と市立川越第一中学校の美術部員が描く合作。3日、生徒たちも参列してお披露目神事が行われた。

絵馬は縦約4・5メートル、幅約5・4メートルの15畳大。酉年とあって、中心には巣で卵を抱くハト。周囲にフクロウやペリカン、ニワトリがそれぞれの個性で描かれ、みんなが仲良くひとつの木に集まっているようにまとめた。中学生たちは、境内に掛ける2畳大の「小型」ジャンボ絵馬も描いた。

夏休み中、ほぼ毎日、八幡宮へ通って仕上げたという。全体指揮をとった山村学園2年で部長の斉藤新奈さん(17)は「ハトは八幡様のお使いで、平和の象徴。世界中の子どもたちが平和に過ごせる年でありますようにと願いました」と話していた。(西堀岳路)